

Before

After

道しるべ

道徳通信

上尾市立太平中学校
道徳通信 第2号
令和7年6月12日(木)
発行者 校長 宮田 純生

「学校」という場所について

教頭

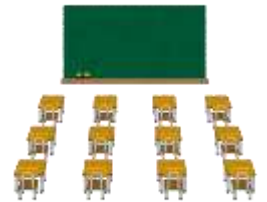
みなさんにとって、「学校」とはどんな場所と考えますか。

「いろいろな教科を学べるところ」

「友達を作るところ」

「好きな部活動ができるところ」

など



人によって「学校」という場所の捉え方は様々だと思います。私も中学時代は、「学校って何だろう？」と真剣に考えることはなく、ただ毎日決まった時間に登校して、勉強や部活動を頑張って一日を終えるような生活をしていました。

しかし、今、教員という立場になり、「学校とは何か」について考えると、在り来たりの考えですが、「学校は大人になるために欠かすことができない大切な場所」と思いました。

私は、「学校」という場所のお陰で、様々なことを学びました。教科の勉強はもちろん、行事や部活動を通して仲間と協力する意味を学んだこと、悩み苦しんでいるときに、近くに助けてくれる先生や友達がいたこと、いけないときに真剣に先生が怒ってくれ、「これはいけないことだ」と知ったことなどなど。

今思えば、学校生活においては、順風満帆でなく紆余曲折したことの方が多かったですが、多くの友達や仲間、先生、地域の人達などにたくさん助けてもらったなと思いました。また、教員という仕事に就くきっかけを与えてくれた、今は、お亡くなりになりましたが、中学時代に親身になって相談に乗ってくれた担任の先生の影響も「学校」という場所がなければ今の自分はなかったことでした。

「学びの場」「人との出会いの場」など、「学校」とは、人によってさまざまな形を有しますが、私が、みなさんに強く言えることは、繰り返しますが、「学校は大人になるために欠かすことができない大切な場所」です。私自身の経験から自信をもって言えます。

今、みなさんは、どんな学校生活を過ごしていますか。

「勉強や授業をがんばっていますか。勉強の内容は分かっていますか」

「難しい、分からないことを理由にして、その場から逃げている自分はいませんか。」

「理想の自分像をもち、取り組めていますか」

「友達やクラスの人達など、周りの人たちのことを考えた生活ができていますか」

「部活動など、自分が選択したことを責任もって取り組んでいますか」

人は、自分自身で成長できる部分もあれば、人の助けを借りないと成長できない部分があります。それらを経験できる場所が「学校」です。学校生活を通して、みんなには、すてきな大人になってほしいと思います。

「みんなは、どんな大人になりたいですか？」

「広い海へ出てみよう」



主幹教諭

皆さんは「さかなクン」という芸能人を知っていますか？私も詳しく知っているわけではないのですが、この道德通信の内容を考えていたとき、さかなクンのある言葉を思い出してタイトルにしました。そのことばを改めて調べてみました。すると、『(いじめられている君へ) さかなクン「広い海へ出てみよう」(2015/8/30 朝日新聞)』という記事がヒットしました。紹介させてください。

メジナ(魚)は海の中では仲良く群れて泳いでいます。せまい水槽(すいそう)と一緒に入れたら、1匹を仲間はずれにして攻撃し始めたのです。(中略) 広い海の中ならこんなことはないのに、小さな世界に閉じこめると、なぜかいじめが始まるのです。



私がこの記事を初めて読んだとき、「なんとなくわかる気がする」という感想を持ったことを覚えています。

話は変わりますが、私はこれまでに2度海外で長期生活をした経験があります。1度目は大学4年生のとき、ニュージーランドで2か月間生活しました。ニュージーランドでは、新しい人に出会う度に「Where are you from?」と質問され、「Japan」と何度も答えました。世界の人にとって私は日本人でした。世界に出たことで、これまで考えたこともなかった「私が日本人であること」を知りました。この生活の中で、何人かの日本人の友達ができました。おそらく日本では交わることのなかった性格の人たちです。外国にいくと、日本人というだけで仲良くなれる不思議なことが起こります。

2度目は台湾で、3年間生活しました。台湾には日本の企業がたくさん進出しています。私の勤めていた台北日本人学校には、そんな日本の企業で働く親を持つ子供たちが通います。台湾で生活しているのですが、職場はほぼ日本と同じ環境です。そんな環境で、まず聞かれることは何だと思いますか？・・・正解は「どこ出身？」です。私は当然「埼玉県」と答えます。そう、私は「埼玉県」の人間だったのです。埼玉県に住んでいるときは、少しも意識していませんでした。数多く日本人はいるけれども、埼玉県人はそれほど多くありません。だから、埼玉県出身というだけで、不思議と仲良くなることがあります。

この話はこれで終わりです。最初は「どんなことを伝えたくてこの話を書いたのか」をまとめて書くつもりでした。しかし、今回はあえてそれをやめてみようと思います。私もさかなクンの文章を読んだとき、自由に思考を巡らせました。今回はそういう文章にしたいと思います。長い文章をここまで読んでいただきありがとうございました。

